

2023年度

事業報告書
決算報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)



一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

(目次)

事業報告書	頁
1. 総括	3
2. 理事会・評議員会に関する事項	6
3. 組織及び職員に関する事項	8
4. 事業の実施に関する事項	11
(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等	11
(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発	11
(3) 介護技術等研修事業	12
(4) 苦情解決第三者委員会	12
(5) 介護老人保健施設事業	13
(6) 通所リハビリテーション事業	13
(7) 訪問リハビリテーション事業	14
(8) 通所介護事業（池ノ島デイサービスセンター）	14
(9) 訪問看護事業	15
(10) 訪問介護事業	15
(11) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業	16
(12) ごてんやま居宅介護支援事業	17
(13) こはま居宅介護支援事業	17
(14) 御殿山地域包括支援センター事業	17
(15) 小浜地域包括支援センター事業	19
(16) 障害者指定・特定相談支援事業	20
(17) シルバーハウジング生活援助員派遣事業	21
(18) ファミリーサポートセンター（育児）事業	21
(19) 介護ファミリーサポートセンター事業	21
(20) 高齢者生活機能評価等業務（訪問型サービスC）	22
(21) 介護予防普及啓発事業（いきいき百歳体操）	22
(22) ステップはつらつ体操教室	23
(23) 認定調査ステーション	23
(24) 視察等受入状況	24
決算報告書	
1. 正味財産増減計算書	31
2. 正味財産増減計算書内訳表	33
3. 貸借対照表	37
4. 財産目録	38
5. 財務諸表に対する注記	39
6. 附属明細書	41
監査報告書	
1. 監査報告書	45

2023年度

事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

1. 総 括

2023 年度は、第 4 次中期経営計画（チャレンジプラン 2022～2026）の 2 年目にあたり、各部門において目標達成に向けた取り組みを推進しました。また、対象事業においては 2024 年度の医療、介護、障害トリプル改定に向けた体制整備を検討しました。

新型コロナウイルスの 5 類感染症への移行を受け、感染予防対策も継続しつつ、ステップハウス宝塚においては面会制限を徐々に解除するなど、各部門において利用者・家族の求めに応じた柔軟な対応を進めました。

管理面では、2023 年 10 月施行のインボイス制度及び 2024 年 2 月から始まった介護職員処遇改善支援補助金取得に関して協議・対応いたしました。また、設備を中心とした管理体制の見直しや人材確保についても積極的に取り組みました。委託事業では、宝塚市による介護ファミリーサポート事業にかかる民間移管の方針を受け 2025 年度以降の実施体制を巡り高齢福祉課との協議を継続しております。

一方、事業面におきましては、サービスにおける質の維持・向上に努めるとともに、相談件数や稼働率向上による事業量の増大、収益率の向上に取り組みました。危機管理に関しても BCP 策定の一環として緊急時連絡体制の訓練、また、ステップハウス宝塚における避難訓練も実施しました。

上記の結果、介護保険事業における収入は、1,116,525,087 円（対前年度比 98.5%）、支出については、1,052,502,380 円（対前年度比 98.3%）となり、収支差額は 64,022,707 円と前年度と比べ 1,056,741 円の僅かな増益となりました。

また、公益目的事業の収入につきましては、対前年度比△1,328,927 円減の 68,492,786 円、支出については対前年度比 8,313,187 円増の 98,810,175 円となり、この結果、収支差額は前年度と比べ 9,642,114 円増加の△30,317,389 円となりました。

これを受け、2023 年度における当公社の収支決算につきましては、経常収益 1,185,691,638 円、経常費用 1,171,107,103 円、収支差額は 14,584,535 円と対前年度比では△17,094,503 円の減少となったもののチャレンジプラン収支目標及び年間予算達成目標を共に達成することが出来ました。2 期連続の黒字決算結果を受け、前年度に引き続き職員の処遇改善、特定資産への積戻し、内部留保への利益配分を予定しております。

各部門における総括は次のとおりとなります。

（1）管理相談部門

チャレンジプランで掲げている事務員一元化の一つとして、事業部門で行っていた拠点経理事務処理を総務課財務係にてすべて集約し、事業所事務員が請求事務や事業所事務を専門的に行うようにし、経理事務については、全事業の経理を総務課財務係が専門的に取り扱うことで効率化を目指した結果、10 月よりインボイス対応、そして電子帳簿保存法に対応することへの取り組み等に、大きな成果を上げております。現在においても取り組み段階の途上であり、今後、財務係だけでなく事務分野における決裁事務等のフローの構築に総務課全体で取り組みます。また、総務係では、年末調整事務を今までの様式から個人情報各自が入力できるアプリを使用した年調ソフトの導入ができました。定額減税が行われる前に導入できたことは、今年度からの効率化に期待ができそうです。

地域福祉課については、両包括支援センター共今年度は職員が安定したことで、地域における活動が充分発揮できております。また障害相談支援事業についても下半期に入り、安定した給付管理を行うことができ、障害分野の特性から地域移行等での遠隔地まで出かけることもあり多忙となっておりますが、市障害福祉課基幹職員と共に障害者に寄り添った活動を行いました。また、ファミリーサポートセンター事業では、周知活動に力を注いだ結果、育児、介護共大きく利用者、活動件数を伸ばしております。そんな中、介護ファミリーサポートセンターにおける民間移管が決まり、利用者と接するスタッフの心労はとても大きなものになっています。そして、地域リハビリについても生き生き百歳体操は、宝塚市の意向に沿いながら、また自主事業であるはつらつ高齢者体操についても周知活動に努めました。

居宅サービス課においては、介護ソフト「ほのぼの」が更新時期を迎えた為、他ソフトを含め検討した結果、介護ソフト「ほのぼの」のクラウド化をすることとなりました。また、介護支援専門員の高齢化と人員確保に苦慮しており、事業量が前年よりこはまケアプランで前年度比 96.1%、ごてんやまケアプランで 79.8%と落ち込み、両ケアプランセンターの収支差において前年より約 745 万円減となっております。また、認定調査については、宝塚市への要望書提出により、一定の成果もいただきましたが、調査受理件数が定まらないことにより、職員への割り当て件数管理が難しく、また職員の高齢化、働き方等により運営は引き続き厳しいものとなっております。

(2) 事業部門

訪問サービス課においての訪問看護ステーションは前年度比ほぼ横ばいの安定した運営状況が確認できております。

ヘルパーステーションにつきましては、職員の高齢化や働き方を変えられる職員等があり事業量としては前年度比 90.7%とやや減少したものの人件費等の支出も前年度比 91.4%と抑えられていることからほぼ横ばいの結果となっております。

24h ケアステーションはニーズはあるものの夏場に看取りや急な入院が相次ぎ収入が前年度比 94.6%とやや減少した要因となっております。介護看護職不足についての課題は尽きませんが定期巡回事業を中心とし訪問看護やヘルパーの訪問事業は在宅生活を支えるうえで必要不可欠なものと考え今後も一役を担っていきたいと考えております。

入所サービス課では 9 月に新型コロナウイルス感染症に罹患された利用者および職員が発生したものの大きく感染拡大することなく経過することができました。ただ 8 月に想定外の特養への入所や入院等の退所が相次ぎそこからの回復がなかなか厳しく事業量としては前年度比 95.5%と減少し稼働率において 88%と目標の 91%を達成することができませんでした。ただし超強化型老健施設としての加算も年間通じて算定できおり収入面の軸として大きく影響しております。2024 年 3 月には単月で稼働率 97%を確保できており今年度目標の 93%は達成できるよう取り組んでまいります。

リハビリテーション課の訪問リハビリテーションは安定した事業ではありましたが職員の体調から人員不足状態にて事業量が前年度比 86.9%と減少しましたが、体制も整いつつあるなか事業回復に取り組んでまいります。

通所リハビリテーションにおきましては、相談員の役割明確化など業務改善に取り組みましたが前年度収支差比▲261,000 円とほぼ横ばいの結果となりました。課内のセラピスト 13 名中 4 名が産休育児休暇中ということもあり、加算算定やサービスの低

下に繋がらないよう入所・通所・訪問や地域福祉課からの応援もいただきながら協力体制のなかで努めております。

通所サービス課においては、相談員の役割の明確化や積極的な営業活動およびチームワーク確率により事業量も前年度比 109.4%の増、収支差も前年度比 741 万円の大幅増となりました。リハビリクラブとの統合の効果も大きく利用者に選んでいただける事業所となっている要因かと考えております。また LSA 事業とも生活援助員が訪問で不在時にもデイ職員が電話対応するなど協力体制ができております。

池ノ島デイサービスセンターおよびステップハウス宝塚北棟、南棟も設備面において経年劣化による不良箇所も次々とみられハード面においての修繕課題もありますが、ICT 化を進めながらさらなる環境整備にも取り組み事業の安定に努めてまいります。

2. 理事会・評議員会に関する事項

(1) 理事会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果																		
第1回 定 時	2023年6月6日（火） 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム <table> <tr> <td>議案第1号</td><td>2022年度事業報告の承認について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>議案第2号</td><td>2022年度決算報告の承認について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>議案第3号</td><td>公益目的支出計画実施報告書の承認について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>議案第4号</td><td>任期満了に伴う新役員（理事・監事）の候補者について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>議案第5号</td><td>2023年度第1回定時評議員会の開催について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>報告第1号</td><td>2022年度下半期の発生事故について</td><td>報 告</td></tr> </table>	議案第1号	2022年度事業報告の承認について	承 認	議案第2号	2022年度決算報告の承認について	承 認	議案第3号	公益目的支出計画実施報告書の承認について	承 認	議案第4号	任期満了に伴う新役員（理事・監事）の候補者について	承 認	議案第5号	2023年度第1回定時評議員会の開催について	承 認	報告第1号	2022年度下半期の発生事故について	報 告	
議案第1号	2022年度事業報告の承認について	承 認																		
議案第2号	2022年度決算報告の承認について	承 認																		
議案第3号	公益目的支出計画実施報告書の承認について	承 認																		
議案第4号	任期満了に伴う新役員（理事・監事）の候補者について	承 認																		
議案第5号	2023年度第1回定時評議員会の開催について	承 認																		
報告第1号	2022年度下半期の発生事故について	報 告																		
第1回 臨 時	2023年6月27日（火） 書面表決形式 <table> <tr> <td>議案第1号</td><td>2023年度代表理事、副理事長、常務理事の選定について</td><td>承 認</td></tr> </table>	議案第1号	2023年度代表理事、副理事長、常務理事の選定について	承 認																
議案第1号	2023年度代表理事、副理事長、常務理事の選定について	承 認																		
第2回 臨 時	2023年7月7日（金） 書面表決形式 <table> <tr> <td>議案第1号</td><td>補欠評議員選任議案を評議員会へ提出する件について</td><td>承 認</td></tr> </table>	議案第1号	補欠評議員選任議案を評議員会へ提出する件について	承 認																
議案第1号	補欠評議員選任議案を評議員会へ提出する件について	承 認																		
第2回 定 時	2023年12月5日（火） 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム <table> <tr> <td>議案第1号</td><td>2023年度上半期経営状況について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>報告第1号</td><td>2023年度上半期の発生事故について</td><td>報 告</td></tr> </table>	議案第1号	2023年度上半期経営状況について	承 認	報告第1号	2023年度上半期の発生事故について	報 告													
議案第1号	2023年度上半期経営状況について	承 認																		
報告第1号	2023年度上半期の発生事故について	報 告																		
第3回 定 時	2024年3月6日（水） 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム <table> <tr> <td>議案第1号</td><td>2024年度事業計画について</td><td>承 認</td></tr> <tr> <td>議案第2号</td><td>2024年度収支予算について</td><td>承 認</td></tr> </table>	議案第1号	2024年度事業計画について	承 認	議案第2号	2024年度収支予算について	承 認													
議案第1号	2024年度事業計画について	承 認																		
議案第2号	2024年度収支予算について	承 認																		

(2) 評議員会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回 定 時	2023年6月27日（火） 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2022年度決算報告の承認について	承 認
	議案第2号 任期満了に伴う理事・監事の選任について	承 認
	報告第1号 2022年度事業報告について	報 告
	報告第2号 公益目的支出計画実施報告書の提出について	報 告
	報告第3号 2022年度下半期の発生事故について	報 告
第1回 臨 時	2023年7月14日（金） 書面表決形式	
	議案第1号 補欠評議員の選任について	承 認

3. 組織及び職員に関する事項

(1) 役員

(理事・監事)

	役員の種類	名 前	備 考
1	理 事 長	妙 中 信 之	ステップハウス 宝塚施設長
2	副 理 事 長 常 務 理 事	岸 本 和 夫	公社副理事長 常務理事
3	理 事	今 中 秀 光	宝塚市立病院 病院長
4	理 事	小 田 中 理	宝塚市 歯科医師会 理事
5	理 事	浦 野 のり子	宝塚市 第四地区 民児協会長
6	理 事	島 田 康 治	宝塚障害福祉 市民懇談会会長
7	理 事	廣 瀬 哲 司	宝塚市医師会 理事
8	理 事	福 本 芳 博	宝塚市社会福祉 協議会理事長
9	理 事	神 川 智 子	宝塚市薬剤師会 理事
10	理 事	米 田 直 人	公社 事務局長
11	監 事	柴 崎 崇	宝塚法律事務所 弁護士
12	監 事	西 尾 晃 一	宝塚市 会計管理者

2024年3月31日現在

(評議員)

	名 前	備 考
1	一 圓 光 彌	関西大学 政策創造学部 名誉教授
2	今 西 則 行	宝塚さざんか福祉会 理事長
3	藤 本 宜 則	宝塚市 健康福祉部長
4	吉 村 雅 子	宝塚市自治会 連合会理事
5	○ 竹 谷 輝 男	元宝塚市 社会教育委員
6	○ 村 山 眞 子	宝塚市 老人クラブ連合会 会長
7	松 藤 聖 一	こむの事業所 代表理事
8	山 田 精 一	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 宝塚せいれいの里総園長 兼宝塚すみれ栄光園園長
9	和 田 縉 市 朗	宝塚さくら福祉会 理事長

○

苦情解決第三者委員

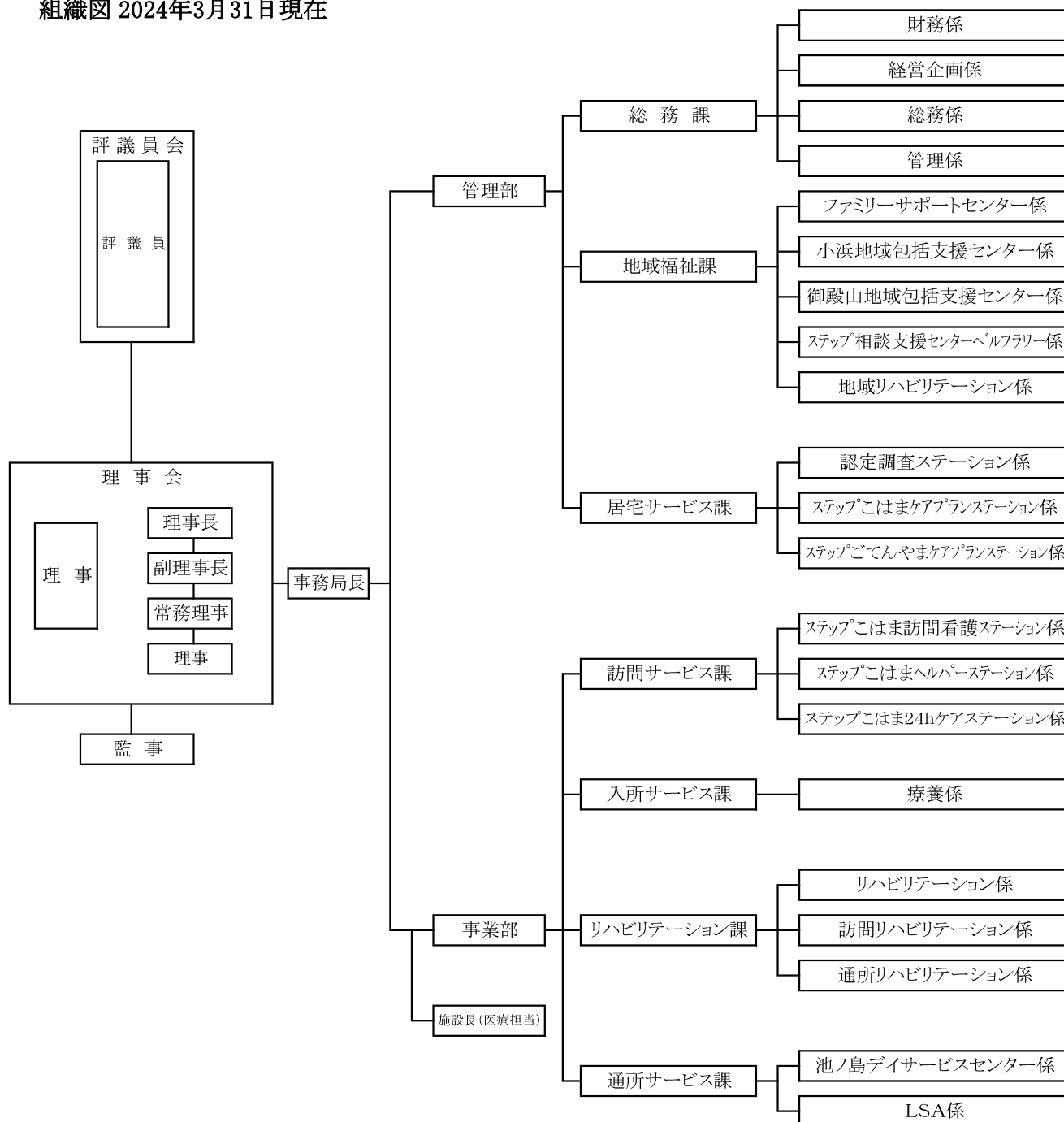
(2) 職員

2024年3月31日現在

(単位:人)

	理事長 (施設長 兼職)	副理事長 (常務理事 兼職)	事務局長	部長	課長	係長	主任	再雇用	正規職員	臨時職員	合計	構成比
事務職		1	1	2	5	5	0	1	7	12	34	14.4%
医師	1										1	0.4%
看護師						1	3	1	13	13	31	13.1%
薬剤師										3	3	1.3%
理学療法士						2			6	3	11	4.7%
作業療法士						1	2		2	1	6	2.5%
言語聴覚士										1	1	0.4%
介護職						8	2	2	24	46	82	34.7%
介護支援専門員						2	1	1	4	19	27	11.4%
相談員						3			11	6	20	8.5%
認定調査員										3	3	1.3%
管理栄養士						1					1	0.4%
運動指導員										2	2	0.8%
設備										1	1	0.4%
清掃										7	7	3.0%
運転手										6	6	2.5%
合計	1	1	1	2	5	23	8	5	67	123	236	
構成比	0.4%	0.4%	0.4%	0.8%	2.1%	9.7%	3.4%	2.1%	28.4%	52.1%		

組織図 2024年3月31日現在



4. 事業の実施に関する事項

(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等

- ア 保健福祉サービスに対するニーズの把握及び関係機関との調整を行った。
- ・宝塚市介護保険事業者協会 各部会・定例会、研修会等への参加、宝塚市主任介護支援専門員連絡協議会への参画
 - ・宝塚市地域において活動する介護保険、医療保険関係者の協会に加入する等随時、保健福祉関係団体との連絡調整を実施
 - ・地域包括ケアシステム研究会 ～3つの若葉を育てる会～ 共催者会への参加
 - ・令和5年度在宅療養支援推進会議（難病対策協議会）への参加

イ 職員全体研修

- ・第1回ネット配信研修 2023年7月1日から2023年8月8日
研修テーマ：「ディズニーにおける接客」
参加人数 101名
- ・第2回ネット配信研修 2023年12月1日から2024年1月12日
研修テーマ：「気疲れしない関係を創るトレーニング」
参加人数 62名

(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発

ア 広報「たからづか」への掲載

- ・育児ファミリーサポートセンター
 - 4月号 宝塚市ファミリーサポートセンター会員募集
 - 5月号 子育てや高齢者を支援したい人の基礎講習会
 - 10月号 子育てや高齢者を支援したい人の基礎講習会
 - 1月号 地域で支え合うファミリーサポートセンター・介護ファミリーサポートセンターに登録しませんか
 - 3月号 ファミリーサポートセンターが一時移転します
- ・介護ファミリーサポートセンター
 - 5月号 子育てや高齢者を支援したい人の基礎講習会
 - 10月号 子育てや高齢者を支援したい人の基礎講習会

- 1月号 地域で支え合うファミリーサポートセンター・介護ファミリーサポートセンターに登録しませんか
- 3月号 ファミリーサポートセンターが一時移転します

- ・介護職員初任者研修過程（旧ホームヘルパー2級養成研修）
4月号・9月号・12月号 介護職員初任者研修受講生募集
- ・訪問型サービスA事業従事者養成研修
8月号・1月号 生活支援ヘルパー養成研修の受講者を募集

イ 公社広報誌

- ・「えがお」No. 57の発行 2023年10月
特集「えがおのお祭り」
- ・「えがお」No. 58の発行 2024年3月
特集「イベントいっぱい」

ウ 講習会・交流会の開催

- ・ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料18P）
- ・介護ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料20P）

（3）介護技術等研修事業

ア 地域に出かけるヒューマンケア講座（認知症サポーター養成講座を含む）

- ・御殿山地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料10P）
- ・小浜地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料12P）

イ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）

- ・20期 2023年10月4日 ～ 2023年11月28日
受講生9名
- ・21期 2024年1月10日 ～ 2024年2月29日
受講生4名

ウ 訪問型サービスA事業従事者養成研修

- ・ 2023年 9月開講 受講生4名
- ・ 2024年 2月開講 受講生5名

(4) 苦情解決第三者委員会

2023年6月27日(火) 参加者 : 竹谷 輝男 委員
村山 眞子 委員
岸本常務理事(苦情解決責任者)
米田事務局長
平岡事業部長
森脇管理部長
端名総務課長

(5) 介護老人保健施設事業（ステップハウス宝塚）

2023 年度の年間ベッド稼働率は目標の 91.0%には及ばず平均 88.0%と前年度の 92.4%と比べても減少した結果となってしまいました。例年と比べ 7 月から秋にかけて特養やサ高住への入所など計 62 名の退所が続き入所調整が追い付かない状況になっていたのが大きな要因と考えます。また 9 月には新型コロナウイルス感染症に数名罹患したことも要因の一つです。ただし、超強化型老健要件は満たし通年算定することが出来たことや 3 月には単月で稼働率 97.0%と回復してきておりますので今年度に続けていきたいと考えております。

職員の資質向上を目的として、各種研修への参加および避難訓練や BCP 訓練の実施、看護師の実習指導者の取得や事例課題研修など特に研修委員会が中心となり年間計画を立て、WEB 研修なども通して学習していきました。

新型コロナウイルス感染症への感染予防対策として、感染対策委員会が主となり、実務の中で全ての職員が同等の感染対策を実践できるように、「初動対応マニュアル」「フローチャート」の見直し「PPE 着脱訓練」等を通し、職員の感染対策能力向上に努めました。新型コロナウイルス感染症も 5 類となり、面会回数緩和など、徐々に感染対策を見直しながら利用者様とご家族様の交流の時間を大切に考え配慮し取り組みました。また、季節行事も積極的に立案し実施いたしました。

設備面におきましては、機械浴槽を補助金を受けて更新し、また一般浴室にリフトを設置しご利用者の方に快適な入浴が提供できております。

深刻な人材不足に対しては総務課の協力のもと改善方向には徐々に向かっておりますが、改善した状況が継続するよう指導教育体制の確立、チームケアの確立などを図り、質の高いサービス提供とベッド稼働率向上を目指して業務に取り組んで参ります。

(6) 通所リハビリテーション事業

2023 年度は、稼働率は一進一退でしたが、前年度に引き続き、リハビリマネジメント加算、口腔機能向上加算、入浴介助加算Ⅱなど各種加算の算定をさらに強化してまいりました。

短期集中リハビリテーション加算の数は、1 日平均 1.86 人、目標数値は 2.0 人と目標数値には到達せず、新規受け入れや問い合わせはありましたが、すべてが利用にはつながらず、入院者や利用停止も多くみられました。今後、入所同様アセスメントの充実、PCDA サイクルの定期的な見直しを図っていきます。

身体機能面のリハビリテーションはもちろん、利用者用の読書コーナーの拡充をはじめ、ご利用者同士の関係性作り、利用者自らが何かに参加できる場面を提供し、心身の活動性を高める取り組みを行いました。また、そのご様子は連絡帳内の写真に反映し、ご家族へも見ていただき、定期的にホームページにもアップしております。

2023 年度は中重度者の割合は前年よりさらに増加がみられており、半数以上のご利

用者様が要介護3以上となっております。そのような中ですが、施設内の移動・食事・入浴などの生活動作もできるだけご自身で行っていただき、生活場面での活動を増やせるようサポートしております。また、中重度の方も、個別浴槽に入浴ができるよう、個別浴槽横に入浴用のリフトを設置するなど、職員の介護負担の軽減と、利用者の満足度を両立させることにつなげております。残念ながら利用者の転倒事故が発生してしまい、今後の事故防止のため環境面を見直し、手すりの滑り止めの設置と、滑り止めマットなどの備品更新も行いました。利用者の満足度についてアンケートも実施し、今年度の運営に活かしていく所存です。

(7) 訪問リハビリテーション事業

2023 年度は、利用終了者も数名おられましたが、新規利用者も開始となりました。下半期にスタッフの体調不良による休暇などもあり、一部お休みさせていただいたケースもあり、結果的に1日平均7.1件の訪問件数となり前年度比の13%減でした。リハビリ会議も引き続き実施し、8割以上は上位の加算の取得が可能でした。

前年度の実地指導以降、PDCAサイクルを意識したリハビリ計画書の作成と、訪問リハビリの取り組みを強化しております。

(8) 通所介護事業（池ノ島デイサービスセンター）

池ノ島デイサービスセンターは大規模のデイサービスセンターとして事業運営を行っております。新型コロナウイルス感染症の感染予防から、体調管理の徹底および密を避けながら感染対策を意識しながらのサービス提供を実施しました。

入浴介助加算Ⅱ、中重度の利用者が増え加算も算定継続しています。

2023 年度の実績は、半日(リハビリクラブ)コースは週5日営業で1日平均利用者数がリハビリクラブコース目標の17.0人を11月には18.0人まで到達しました。

個別リハビリの内容についてもベッド上でのリハビリから活動を中心としたリハビリに移行し、屋内外の歩行訓練や利用者の意欲向上が出来るような関りをもちました。

また、1日コースは週6日営業で営業活動にも力を入れ、利用者平均35.1人まで到達。目標の30.0人に対しては常に上回るよう管理者・相談員を中心に新規利用者の獲得と利用者に合わせて入浴介助を午後からも実施する日を設けるなど柔軟に対応しました。

半日・1日コースどちらのサービスにおいても利用者の入院等による急な利用人数低下にも対応できるよう、利用登録者数の維持には常に意識したことで前年度より利用者の増、収益の増加にも繋がりました。

また、2023 年度は介護ソフトやWi-Fiの導入、特別浴槽の更新を行ないました。介護

ソフト導入当初は少し現場の戸惑いもありましたが、インカムやタブレット等の使用により業務効率の向上ができました。

設備面におきましては、開設から 28 年目を迎え建物の経年劣化も重なり修繕費用が多くかかることとなりました。

利用者の在宅生活が安心安全に過ごせるよう職員の育成や指導も実施し、利用者の満足度を高め、地域で選ばれる事業所作りに今後も取り組んでまいります。

(9) 訪問看護事業(ステップこはま訪問看護ステーション)

経営面では、前半の訪問件数過多の状況が長く続いたことや、後半の医療依存の高い利用者の割合が増えたことで医療保険の割合も昨年を上回る結果となり、1件単価はアップしました。結果、経営面での運営は安定しています。

顧客満足度の視点では、在宅看取りが11名。うち9名のターミナルケア加算を算定しています。緊急出動も 152 件/年と年々増加傾向ですが、緊急訪問看護加算の契約者も全利用者の 8 割を占め、重度化する在宅ニーズを支えています。

内部体制では、今年度も人員増加の体制を目指しましたが、前年度末からの職員の入れ替わりの補充がやっとの状況でした。さらに、育休中の職員もあり、3月末現在の常勤換算数は、4月当初の常勤換算数を下回ることになりました。新人職員の割合が高いことでこれまでの、「訪問看護の質」の確保に苦労した場面もありましたが、その都度話し合いを重ねてきました。業務内容として、新人職員の同行訪問やオリエンテーションに多くの時間を費やしました。

学習・教育の視点でも「新人教育」を目標にあげ、研修や学習の機会を業務の中に組み込み、月 1 回の面談を行い、訪問件数を調整するなどサポートしています。

また上半期からの課題となっていた休息の確保も、年明けからやっと訪問件数も正常化し確保できるようになりました。令和 6 年 6 月の報酬改正では、「在宅看取り」や「働き方」のところが問われます。人員の確保や休息の確保が今後も課題となってきています。

(10) 訪問介護事業(ステップこはまヘルパーステーション)

当事業所は、内外居宅からケアを安心して任せられる事業所として信頼していただいております。新規相談も途切れなくあり、極力新規獲得を行ないました。また、定期巡回から訪問介護への移行や、訪問看護と連携の取り易さも、他事業所にはない強みとなっており、その信頼に応えるべく、看取りや毎日・複数回訪問の利用者も積極的に受け入れました。また、重度要介護者の割合が利用者全体の 25%以上を維持し、特定事業所加算Ⅰを継続取得していますが、前年度に比べ収益増には繋がりませんでした。

要因として、職員数は 3 名減・職員の高齢化に伴う労働時間が短縮傾向にあるため事業所の稼働時間の確保が難しく、新たな人材確保も難しい事があげられます。また、

新規獲得や重度利用者の状態変化に伴う常勤訪問稼働率が上がる一方で、日中の事務処理が追い付かず残業が増えました。それらの事が、常勤職員の疲労にもなりました。

取組としては、非常勤職員のサービス提供責任者を配置・1月に非常勤1名採用にて夜の訪問の確保を行う事で、常勤が日中事務所にいる体制を作りました。また、職員の労働条件の見直しを行いました。多忙ではありましたが、新人ヘルパーには何度も同行訪問を行う等、自立に向けたサポートを行いました。今年度も継続して利用者満足度アンケートを利用者に実施しました。ヘルパーを利用して良かったと信頼関係が築けている事が伺えました。しかし、生活支援の掃除では、物を動かす人動かさない人それぞれ違うとの指摘もあり、こはまヘルパーの基本を見直すきっかけになりました。

来年度は、介護報酬単価が減となるため厳しい状況が続くことが予想されますが、常に新規受け入れが出来るようスケジュール管理を管理者中心に常勤でも行ないます。

また、常勤の事務負担軽減・スタッフの体調管理に努めていきます。質の維持向上として、身体介護・生活支援等のマニュアルを整備し、こはまヘルパーの基本を再確認し、安心して任せてもらえる事業所を目指します。

(11) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業(ステップこはま 24h ケアステーション)

平均利用者数は20名、介護度では全国平均3.2ですが、当事業所は平均3.9です。収入は、前年度比ではやや減収になりました。看取りや入所等で夏に終了が相次ぎ、17名の月が2ヶ月続いた・介護職のフルタイム非常勤2名の退職・点滴継続にて看護師の毎日訪問が必要となるも、包括報酬の為に収益に上がらなかった事も、影響しています。対策として、これまで以上に営業活動を行う事で新規獲得に繋がり、下半期は20名以上維持しています。限られたスタッフの中、医療ニーズの高い看取り期の利用者受け入れも積極的に行いました。訪問看護は、比較的用户の体調安定が図れたこともあり、1月あたりの訪問件数は減少となっています。

季節イベントは前年度同様に実施しています。今年度よりイベントの様子をホームページに掲載しています。会議ではスタッフ全員で利用者のアセスメントを行い、手順書に記載のない些細な気付きによるケア(買い物時に季節のものを取り入れる、物品の整理や補充)ができるように共有しています。全体のスキルアップ、利用者の生活の質の向上につなげていきます。

1月に非常勤1名採用し、マニュアルに沿って育成、独り立ちも早くできました。広報活動も兼ねて、伊丹西高や民生委員、病棟看護師への勉強会等実施しました。研修については、常勤1名が不特定多数痰吸引研修受講完了しました。医療ニーズが高まってきている状況に対応できるよう、次年度も1名受講調整できればと考えます。

次年度より連携型のみの運営となるため、介護に特化しつつ訪問看護との連携をより一

層努めていきます。また、報酬改定で基本額 4.4%の減算があり、収支に大きな影響が考えられますが、20 名程の利用者の獲得ができる体制づくりを目指します。そのため、スタッフ人員が 1 名減のままであり、次年度退職予定者もいるため、最低 1・2 名の補充は必要と考えます。募集もしますが、まずは今の人材が定着するようにしていきます。

(12) ごてんやま居宅介護支援事業

2023 年度は、ご利用者ファーストで丁寧であたたかい支援を心がけて業務に取り組みました。収支に関しても、目標件数を意識しながらスムーズで効率的な業務を目指しました。また、ケアマネジャーは相談援助の専門職であるという意識をもち、支援技術の向上を目指し、定期的に係内勉強会を開催しました。その他にも地域包括支援センターが主催する勉強会にも参加し成年後見制度や権利擁護についての知識も深めました。

しかしながら、上半期に続きケアマネジャーの高年齢化や外勤業務の疲弊感などから退職者が重なり、新規相談に応じることが難しくなったため、収入に関しては給付件数目標値に達することが出来ませんでした。

業務内容と責任問題、資格更新の負担などから介護業界では深刻なケアマネジャーの人材不足となっていますが、働きやすい職場環境をつくり、人材を整え、安定した事業所運営を目指してまいります。

(13) こはま居宅介護支援事業

2023 年度は『丁寧な待遇を意識する』『専門職としてのスキル向上』『収支を整える』の 3 つを係内目標として業務に取り組みました。丁寧な対応を意識するという目標に対しては、関係性の構築された相手との電話や会話でも言葉遣いや個人情報の取り扱いに留意し、自分たちの接遇マナーを見直す機会をミーティング内で意識的に設けました。

専門職としてのスキル向上については、毎月の社内研修以外にも事業者協会等が開催する社外研修へも積極的に参加しました。

収支を整えるという目標に対しては、常勤換算で月 35 件の数値目標を意識し、年間を通じて目標値を上回る平均 38~39 件の給付件数をあげることができました。

次年度も新規相談にスムーズに対応できるように、チームワークを大切に他機関・利用者や家族・地域から、信頼される事業所を目指していきます。

(14) 御殿山地域包括支援センター事業

御殿山地域包括支援センターは、市からの受託事業として第3地区の高齢者の総合相談窓口、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置されています。

令和5年度も多様な相談に対し、本人主体を重視しながら、関係機関や行政機関と連携して支援を行いました。

在宅医療・介護連携の推進に関して3.4.7地区合同で、ケアマネ交流会を定期開催しています。多職種連携の観点から、配食の試食会、権利擁護（法テラスの理解）、高次脳機能障害についてWakabaの紹介、障害分野との交流も行いました。交流を行う中で、障害制度の理解や、居場所の情報や顔の見える関係づくり、相談のしやすい関係につなげる事が出来ました。

認知症施策の推進では、今年度初めて、宝塚小学校4年生向けの認知症サポーター養成講座を行いました。昨年度に引き続き、川面ちどり保育園の5歳児向けのキッズの認知症サポーター養成講座を行いました。宝塚チャレンジファーム（当事者と共に畑で作物を作る）が3周年を迎え、立ち上げ当初に受けたさわやか財団からの助成金の影響で、取材を受けることになり、チャレンジファームを知ってもらう機会ができました。

介護予防の推進では、サロンはじめ、様々な団体に対し介護予防の講話や体操を実施しました。いきいき100歳体操が新たに1ヵ所（リーフアベニュー）立ち上がりました。今後は参加条件なく、気軽に参加できるいきいき100歳体操の新規立ち上げへの支援についても、積極的に行っていきます。

権利擁護業務の対応力の向上については、地域の高齢者が集うサロンや住民主催の会議等にて、市内で頻発する特殊詐欺の注意喚起を行い、地域住民にも高齢者虐待について発信する機会をもち、早期発見につながる地域の見守りネットワークづくりを目指しました。1月に3.4地区のケアマネジャーを対象とした成年後見制度の勉強会を開催し、後見人とケアマネジャーとの連携について意見交換を行いました。

(15) 小浜地域包括支援センター事業

小浜地域包括支援センターは、宝塚市の受託事業として第4地区の高齢者の総合相談窓口、地域包括ケア推進の中核的機関として設置されています。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、地域包括支援センター業務や地域活動等高齢者を取り巻く環境は従前の状況に戻ってきました。

地域活動では、民生児童委員をはじめ自治会・まちづくり協議会等地域住民や各団体組織、また行政機関、社協等関係機関との連携強化を図り高齢者等支援ネットワーク推進に努めました。

在宅医療・介護連携では、宝塚市内包括協同で7病院地域連携会やPT・OT・ST 連絡

会、介護保険事業者等関係機関との情報交換・情報共有、各種研修等連携強化に努め、今後の連携拠点として在宅療養支援センターや認知症疾患医療センターの設置等の要望を市に提案しました。

認知症施策の推進では、認知症サポーター養成講座や認知症講座を開催したり、認知症疾患医療センター主催の研修会への参加や障碍分野との連携の成果（一例）として若年性認知症に関する相談事例が増えつつあるなど認知症に対する理解の深化、認知症支援ネットワーク構築に取り組みました。

介護予防の推進では、各地域でのいきいき百歳体操、サロン、自治会・老人会等に参加し顔の見える関係づくりに努め、介護予防や健康増進に関するミニ講座の開催や小浜包括の機関紙「ばらそる」にて高齢者の栄養摂取について掲載し介護予防や健康増進に関する啓発を図りました。

権利擁護では、各種研修（虐待案件のやむを得ない措置の対応、障碍分野との連携、法テラス主催の勉強会、家庭裁判所主催の後見制度の講座等）への参加や障碍者をもつ家族の会に参加し、障碍者に対する理解を深め支援対応力向上に努めました。また、地域の高齢者等が集うサロン等で出張講座を開催し、高齢者虐待防止、消費者被害、特殊詐欺防止等への注意喚起、啓発に努めました。

（１６）障碍者指定・特定相談支援事業（ステップ相談支援センター ベルフラワー）

特定相談支援事業所としてベルフラワーでは、本人中心支援を基に利用者の意思決定を尊重し、総合的かつ継続的なサービスの供給を確保しながら計画案を作成し幅広いニーズの把握に取り組んでいます。業務内容の効率性、適切な事務作業の見直しに取り組み、新規受付を開始する体制が整い、また他の相談支援事業所からの移管を、積極的に受け入れています。

宝塚市委託相談支援事業所としてベルフラワーでは、宝塚市から委託を受け、第三地区の障碍総合相談の窓口として、相談、緊急時の受け入れ（虐待・権利擁護）、体験の機会・場（地域移行・地域定着）、専門的人員の確保（研修の企画・運営）、地域の体制づくり（多職種連携の強化）、その他（検討・評価・助言）の業務を担っています。特に、地域移行においては、令和５年９月以降、新たな取組を行っています。

そして自立支援協議会では、研修担当として基幹相談支援センターと連携し、運営企画を担っています。令和５年２月に外部講師を招き相談支援事業所をはじめとする地域で活動されているサービス提供事業所を含めた研修を開催する事ができました。令和５年度から、けんり部会委員として、部会をはじめ定例会、全大会にも参加しました。毎月行われる事務局会議に参加し宝塚市が掲げる地域拠点の整備、障碍重点施策の実行など検討する事ができました。

(17) シルバーハウジング生活援助員派遣事業

当事業は、宝塚市からの受託事業で、市内にある8住宅の緊急通報システム付きのシルバーハウジングを生活援助員が毎日巡回訪問し安否確認を行なっています。

訪問時には、体調や生活相談等を受け、必要時に地域包括支援センター・担当ケアマネジャーなどの関係との連携を随時行い在宅生活支援に努めています。

地域交流会においては、下記の予定で体操の会、LSA主催のレクリエーションをこれまで積極的に行ってきましたが、感染対策を行ないながら、密にならないようビーズでの手芸や観葉植物や正月の寄せ植え、カラオケなど地域の方々が楽しんで頂ける内容を検討し、昨年度は10回実施しました。

地域交流会

＊池ノ島第2住宅・泉町住宅他 「ゆのゆの水曜会」

＊第1・3水曜日体操（運動指導員）

＊第4水曜日レクリエーション（LSA）

(18) ファミリーサポートセンター（育児）事業

ファミリーサポートセンター（育児）事業は、宝塚市からの受託事業で、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整等を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズへの対応を図ることを目的としています。

今年度は、孤独な子育て環境による子育てへの強い負担感のある子育て家庭の増加、共働き家庭や、父子・母子家庭の増加により地域との繋がりを求める方が増加し、それに伴い活動件数が大幅に増加いたしました。

また、介護ファミリーサポートセンターとの連携をさらに強化し、会員獲得促進を図り年間通して目標を達成しております。

その他、関係機関との関係構築をねらいとして、1・2・3・4・6地区の地域生活支援会議に参加し福祉専門職の方との交流や、民生委員、民間の子育て支援団体、社会福祉協議会との交流を行い、事業の周知を進めてまいりました。

(19) 介護ファミリーサポートセンター事業

宝塚市介護ファミリーサポートセンター事業は、宝塚市からの受託事業であり、高齢者等に対する簡易で、補助的な援助を行う会員同士の相互援助活動です。

援助内容は、高齢者等が日常生活を送る上で、なんらかの手助けがあれば地域で自立して生活できる際の援助、病気怪我などの際の援助、その他センターで認める範囲内

で必要な援助を行います。

コロナウイルス感染症の影響から、施設内でのサポート活動はほとんどありませんが、通院の付き添いや介護を担うご家族のレスパイト利用として、見守りのサポートが増加いたしました。依頼者の要件は、概ね 65 歳以上の市民としていますが、疾患により介護保険を利用されている 65 歳以下の方のサポートも行いました。

講習会を再開し、提供会員の資質向上を図ると共に、提供会員同士の交流を目的とした座談会を開催しました。その他、関係機関との関係構築をねらいとして、1・2・3・4・6 地区の地域生活支援会議に参加し福祉専門職の方と交流をしています。また、提供会員新規の獲得のために、民生委員の定例会等での事業説明を行いました。

(20) 高齢者生活機能評価等業務(訪問型サービス C)

当事業は、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス C(専門職の訪問により生活機能に関する問題を総合的に把握、評価し、社会参加を高めるために必要な相談・指導等を実施する短期集中予防サービス)として宝塚市より業務委託を受けています。公社より療法士を派遣しています。

2023 年は介護支援専門員全体研修会での周知の後、本格稼働となりました。派遣回数は前年度の 5 回(2 名)から 9 回(5 名)と微増しましたが、まだまだ少ない状況です。今後介護保険課と共同して周知活動等もおこない、各地域包括支援センター、居宅支援事業所と連携しより良いサービスとなるよう取り組んでまいります。

(21) 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)

当事業は、高知県高知市発祥の介護予防運動「いきいき百歳体操」を地域住民が主体となって取り組んでいただく宝塚市主催の事業です。宝塚市の依頼を受け、運動の指導と管理の為、公社より療法士と看護師を派遣しています。

2023 度は、新規会場、フォローアップ会場ともに出務回数が 2022 年度より減少し、合計 109 回(前年比-51 回)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いてきているものの参加者、世話人ともに高齢化が進んでおり終了するケースも増えているようで、回数の減少の一因になっていると思われます。

今後も状況を踏まえながら各機関と連携し事業に取り組んでまいります。

（２２）ステップはつらつ体操教室

当事業は、はつらつ高齢者の会の事業の受け皿（高齢者のための体操教室）として介護予防を目的に、運動指導員と療法士や看護師が関わり、運営しております。継続して通っていただくことで、利用者同士でコミュニケーションをとれる集いの場となり、介護予防・認知症予防の場となっております。

2023 年度は会館都合による開催場所の変更（総合福祉センター→中央公民館、まいたに人権文化センター→こむの事業所）はありましたが休止することなく事業を実施できました。

登録人数は微減（93→90）しましたが、民生児童連絡会等への周知活動も行った結果新規利用者は全会場合わせて14名おられ、利用者が少しですが入れ替わる状況となりました。

今後も宝塚市の介護予防の一翼を担えるよう取り組んでまいります。

（２３）認定調査ステーション

介護保険認定調査事業は、福祉公社の公益目的事業に位置付けられています。宝塚市から唯一「事務受託法人」として委託を受け、要介護認定を受けようとする市内全域の新規申請者及び担当地域の更新・区分変更の申請者、住民票が他市のまま宝塚市内にお住まいの他市新規申請者の認定調査業務を実施しています。

今年度の当ステーションへの調査依頼件数は 5,358 件でした。1 件当たり 2.8 時間で調査を完了するように業務指示を出していますが、市外病院や西谷地区への調査は移動時間（往復）に約 2 時間を要し、調査時間も含み 2.8 時間で調査票を作成することは困難な状況があります。また調査員の高年齢化もあり、体調不良や事故による休職も複数名発生し、人員不足から一部認定調査が滞り、超過勤務も増加する事態となりました。このような背景から、宝塚市介護保険課へ「要介護認定調査業務委託一部変更についての要望書」を提出し、①月当たりの調査受理件数を 450 件上限とする②西谷地区への諸経費を請求（仕様書に追加）③認定調査地域の縮小④市外業務委託料を市内新規代金と同等の「5,830 円」へ変更、の 4 点を要望しました。その結果、③と④は受理していただくことができました。

調査員が公平公正かつ適切な認定調査を実施するために今後も定期的に研修を受講し、自己研鑽にはげみます。

(24) 視察等受入状況

ア) 視察・施設見学内容

ステップハウス宝塚

7月	介護サービス相談員	2
計 1 件		2 人

イ) 実習・体験学習受入内容

ステップハウス宝塚

5/10～5/24	宝塚市立看護専門学校	5
5/31	宝塚市立看護専門学校	6
6/1～6/14	宝塚市立看護専門学校	6
6/21～6/30	宝塚市立看護専門学校	5
7/3～7/5	宝塚市立看護専門学校	5
7/12～7/26	宝塚市立看護専門学校	5
8/1～8/9	宝塚市立看護専門学校	10
8/8	県看護協会（サントラル実習）	1
8/30～9/1	宝塚市立看護専門学校	5
9/20～9/29	宝塚市立看護専門学校	6
10/2～10/4	宝塚市立看護専門学校	6
10/18～11/1	宝塚市立看護専門学校	5
3/4～3/8	行吉学園神戸女子大学	2
計 13 件		67 人

通所リハビリテーション

5/19 5/22～24	プレースメント	1
5/17	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	2
5/24	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	3
6/7	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	3
6/14	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	3
6/28	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	3
7/5	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	2
7/19	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	2
7/26	宝塚市立看護専門学校：老年看護学実習	3

9/6	宝塚市立看護専門学校:老年看護学実習	3
9/13	宝塚市立看護専門学校:老年看護学実習	2
9/27	宝塚市立看護専門学校:老年看護学実習	3
10/4	宝塚市立看護専門学校:老年看護学実習	3
10/25	宝塚市立看護専門学校:老年看護学実習	3
11/1	宝塚市立看護専門学校:老年看護学実習	2
6/27～28 6/30	兵庫県社会福祉協議会:介護体験(ひょうご ケアアシスタント)	1
8/28～31	宝塚医療大:リハビリ見学実習	1
9/19～22	宝塚医療大:リハビリ見学実習	1
2/13～2/19	甲南女子大学:リハビリ見学実習	1
計 19 件		42 人

ステップこはま訪問看護ステーション

5/16 ～ 5/23	宝塚市立看護専門学校	1
6/6 ～ 6/13	宝塚市立看護専門学校	2
6/27 ～ 7/4	宝塚市立看護専門学校	2
7/18 ～ 7/25	宝塚市立看護専門学校	1
9/5 ～ 9/12	宝塚市立看護専門学校	2
9/26 ～ 10/3	宝塚市立看護専門学校	2
10/23 ～10/26	宝塚市立看護専門学校	2
10/27	宝塚市立看護専門学校	1
10/30 ～10/31	宝塚市立看護専門学校	2
11/6 ～ 11/7	宝塚市立看護専門学校	2
2/27 ～ 3/12	宝塚市立看護専門学校	2
計 11 件		19 人

ステップこはまケアプランステーション

5/15	宝塚市立看護専門学校	1
6/5	宝塚市立看護専門学校	1
4/13～5/14	介護支援専門員	1
5/11～6/12	介護支援専門員	1
6/26	宝塚市立看護専門学校	1
9/4	宝塚市立看護専門学校	1
9/25	宝塚市立看護専門学校	1

10/20	宝塚市立看護専門学校	1
10/30	宝塚市立看護専門学校	2
10/31	宝塚市立看護専門学校	2
11/6	宝塚市立看護専門学校	2
11/7	宝塚市立看護専門学校	2
3/28～4/9	介護支援専門員実務研修実習	1
計 13 件		17 人

ステップごてんやまケアプランステーション

6/5	宝塚市立看護専門学校	1
6/26	宝塚市立看護専門学校	1
7/14	宝塚市立看護専門学校	1
9/4	宝塚市立看護専門学校	1
9/25	宝塚市立看護専門学校	1
10/20	宝塚市立看護専門学校	1
10/30～31	宝塚市立看護専門学校	1
11/6～7	宝塚市立看護専門学校	1
3/13～31	介護支援専門員実務者研修見学実習	1
計 9 件		9 人

小浜地域包括支援センター

5/11～12	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	1
6/22～23	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	2
9/20～21	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	2
10/20	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	1
10/30～31	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
11/6～7	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
2/26	宝塚市立看護専門学校：地域での生活を支える実習	2
計 7 件		12 人

御殿山地域包括支援センター

5/30～31	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	2
7/12～13	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	1
6/22～23	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	1

8/31～9/1	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	1
10/18～10/19	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論実習	1
10/30～10/31	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	1
11/6～11/7	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	1
計 7 件		8 人

2023年度

決 算 報 告 書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

正 味 財 産 増 減 計 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	68,652	4,000	64,652
基本財産受取利息	68,652	4,000	64,652
特定資産運用益	200	1	199
特定資産受取利息	200	1	199
受取会費	455,400	375,300	80,100
事業収益	1,158,688,893	1,168,846,684	△ 10,157,791
受取補助金等	11,848,595	20,587,467	△ 8,738,872
受取補助金	9,337,000	19,486,415	△ 10,149,415
受取補助金等振替額	2,511,595	1,101,052	1,410,543
受取寄附金	600,000	0	600,000
雑収益	14,029,898	14,304,520	△ 274,622
経常収益計	1,185,691,638	1,204,117,972	△ 18,426,334
(2)経常費用			
事業費	1,151,312,555	1,160,995,103	△ 9,682,548
役員報酬	4,299,480	4,502,340	△ 202,860
給料手当	485,952,678	489,384,574	△ 3,431,896
臨時雇賃金	211,578,983	217,563,187	△ 5,984,204
法定福利費	116,200,655	112,595,420	3,605,235
賞与引当金繰入額	51,002,253	52,601,580	△ 1,599,327
退職給付費用	35,318,396	34,253,046	1,065,350
福利厚生費	2,401,493	2,723,904	△ 322,411
職員被服費	240,515	382,965	△ 142,450
旅費交通費	601,188	333,180	268,008
通信運搬費	10,661,618	10,924,765	△ 263,147
減価償却費	23,287,838	21,347,709	1,940,129
消耗品費	17,212,194	19,507,511	△ 2,295,317
医薬品費	3,925,407	4,629,610	△ 704,203
食糧費	3,326,591	3,236,542	90,049
修繕費	5,033,908	4,513,030	520,878
印刷製本費	759,029	479,325	279,704
燃料費	4,441,681	4,395,713	45,968
光熱水料費	39,877,963	45,126,336	△ 5,248,373
賃借料	20,390,649	20,431,689	△ 41,040
保険料	3,178,507	2,888,753	289,754
支払負担金	55,000	55,000	0
諸謝金	6,796,537	7,087,570	△ 291,033
租税公課	7,852,282	6,891,636	960,646
報償費	10,000	175,000	△ 165,000
委託費	91,471,957	89,465,455	2,006,502
会議費	0	6,467	△ 6,467
地域交流費	175,480	182,446	△ 6,966
研修費	661,110	832,165	△ 171,055
諸会費	809,800	788,800	21,000
手数料	2,629,727	2,667,927	△ 38,200
支払利息	772,094	846,117	△ 74,023
雑費	387,542	175,341	212,201

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	19,794,548	11,443,831	8,350,717
役員報酬	798,720	563,760	234,960
給料手当	7,050,126	3,255,972	3,794,154
臨時雇賃金	794,088	0	794,088
法定福利費	1,530,947	526,364	1,004,583
賞与引当金繰入額	664,647	306,620	358,027
退職給付費用	788,020	248,644	539,376
福利厚生費	36,765	26,702	10,063
採用費	4,095,812	2,586,177	1,509,635
旅費交通費	2,331	550	1,781
通信運搬費	58,562	45,191	13,371
減価償却費	240,539	158,749	81,790
消耗品費	108,139	58,642	49,497
修繕費	657,499	1,353,152	△ 695,653
印刷製本費	7,231	13,256	△ 6,025
燃料費	2,631	1,294	1,337
光熱水料費	48,000	48,282	△ 282
賃借料	84,266	90,967	△ 6,701
保険料	167,691	161,324	6,367
諸謝金	1,618,319	837,886	780,433
租税公課	27,246	84,834	△ 57,588
委託費	660,232	655,282	4,950
研修費	187,680	274,880	△ 87,200
諸会費	11,200	11,200	0
手数料	130,847	118,556	12,291
支払利息	23,010	15,547	7,463
経常費用計	1,171,107,103	1,172,438,934	△ 1,331,831
当期経常増減額	14,584,535	31,679,038	△ 17,094,503
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	294,654	446,549	△ 151,895
経常外費用計	294,654	446,549	△ 151,895
当期経常外増減額	△ 294,654	△ 446,549	151,895
税引前当期一般正味財産増減額	14,289,881	31,232,489	△ 16,942,608
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	0
当期一般正味財産増減額	14,207,881	31,150,489	△ 16,942,608
一般正味財産期首残高	230,823,865	199,673,376	31,150,489
一般正味財産期末残高	245,031,746	230,823,865	14,207,881
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取補助金	4,008,000	0	4,008,000
一般正味財産への振替額	△ 2,511,595	△ 1,101,052	△ 1,410,543
当期指定正味財産増減額	1,496,405	△ 1,101,052	2,597,457
指定正味財産期首残高	203,982,539	205,083,591	△ 1,101,052
指定正味財産期末残高	205,478,944	203,982,539	1,496,405
III 正味財産期末残高	450,510,690	434,806,404	15,704,286

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			小計	その他会計		法人会計	合計
	継 1	継 2	継 3		他 1	小計		
	教育・啓発事業	地域福祉 サポート事業	認定調査事業		介護保険事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	68,652	68,652
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	68,652	68,652
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	200	200
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	200	200
受取会費	0	455,400	0	455,400	0	0	0	455,400
事業収益	1,311,862	36,748,575	29,873,140	67,933,577	1,090,755,316	1,090,755,316	0	1,158,688,893
受取補助金等	0	0	0	0	11,848,595	11,848,595	0	11,848,595
受取補助金	0	0	0	0	9,337,000	9,337,000	0	9,337,000
受取補助金等振替額	0	0	0	0	2,511,595	2,511,595	0	2,511,595
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	600,000	600,000
雑収益	0	67,809	36,000	103,809	13,921,176	13,921,176	4,913	14,029,898
経常収益計	1,311,862	37,271,784	29,909,140	68,492,786	1,116,525,087	1,116,525,087	673,765	1,185,691,638
(2) 経常費用								
事業費	12,516,480	50,213,478	36,080,217	98,810,175	1,052,502,380	1,052,502,380	0	1,151,312,555
役員報酬	143,316	119,430	95,544	358,290	3,941,190	3,941,190	0	4,299,480
給料手当	9,727,648	16,135,563	7,887,937	33,751,148	452,201,530	452,201,530	0	485,952,678
臨時雇賃金	238,227	15,073,353	18,575,434	33,887,014	177,691,969	177,691,969	0	211,578,983
法定福利費	975,380	5,273,451	3,409,637	9,658,468	106,542,187	106,542,187	0	116,200,655
賞与引当金繰入額	199,395	2,090,584	938,410	3,228,389	47,773,864	47,773,864	0	51,002,253
退職給付費用	156,504	959,365	783,762	1,899,631	33,418,765	33,418,765	0	35,318,396
福利厚生費	11,031	126,063	125,487	262,581	2,138,912	2,138,912	0	2,401,493
職員被服費	0	36,190	40,920	77,110	163,405	163,405	0	240,515
旅費交通費	75	51,464	7,450	58,989	542,199	542,199	0	601,188
通信運搬費	27,011	1,217,260	418,284	1,662,555	8,999,063	8,999,063	0	10,661,618
減価償却費	0	12,826	26,521	39,347	23,248,491	23,248,491	0	23,287,838
消耗品費	218,995	1,266,991	144,945	1,630,931	15,581,263	15,581,263	0	17,212,194
医薬品費	0	0	0	0	3,925,407	3,925,407	0	3,925,407
食糧費	0	0	0	0	3,326,591	3,326,591	0	3,326,591
修繕費	369	81,191	59,554	141,114	4,892,794	4,892,794	0	5,033,908
印刷製本費	200,172	265,570	1,447	467,189	291,840	291,840	0	759,029
燃料費	792	220,011	57,813	278,616	4,163,065	4,163,065	0	4,441,681
光熱水料費	14,400	165,147	249,600	429,147	39,448,816	39,448,816	0	39,877,963
賃借料	25,278	1,060,671	939,138	2,025,087	18,365,562	18,365,562	0	20,390,649
保険料	16,465	926,537	91,580	1,034,582	2,143,925	2,143,925	0	3,178,507
支払負担金	0	55,000	0	55,000	0	0	0	55,000
諸謝金	222,486	307,361	148,324	678,171	6,118,366	6,118,366	0	6,796,537
租税公課	85,287	2,388,336	1,903,309	4,376,932	3,475,350	3,475,350	0	7,852,282
報償費	0	0	0	0	10,000	10,000	0	10,000
委託費	199,598	1,715,531	132,046	2,047,175	89,424,782	89,424,782	0	91,471,957
地域交流費	0	175,480	0	175,480	0	0	0	175,480
研修費	3,216	2,680	2,144	8,040	653,070	653,070	0	661,110
諸会費	3,360	2,800	2,240	8,400	801,400	801,400	0	809,800
手数料	40,572	478,872	34,089	553,533	2,076,194	2,076,194	0	2,629,727
支払利息	6,903	5,751	4,602	17,256	754,838	754,838	0	772,094
雑費	0	0	0	0	387,542	387,542	0	387,542
管理費	0	0	0	0	0	0	19,794,548	19,794,548
役員報酬	0	0	0	0	0	0	798,720	798,720
給料手当	0	0	0	0	0	0	7,050,126	7,050,126
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	794,088	794,088
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,530,947	1,530,947
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	664,647	664,647
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	788,020	788,020
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	36,765	36,765
採用費	0	0	0	0	0	0	4,095,812	4,095,812
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	2,331	2,331
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	58,562	58,562
減価償却費	0	0	0	0	0	0	240,539	240,539
消耗品費	0	0	0	0	0	0	108,139	108,139
修繕費	0	0	0	0	0	0	657,499	657,499
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	7,231	7,231
燃料費	0	0	0	0	0	0	2,631	2,631
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	84,266	84,266
保険料	0	0	0	0	0	0	167,691	167,691
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,618,319	1,618,319
租税公課	0	0	0	0	0	0	27,246	27,246
委託費	0	0	0	0	0	0	660,232	660,232
研修費	0	0	0	0	0	0	187,680	187,680
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,200	11,200
手数料	0	0	0	0	0	0	130,847	130,847
支払利息	0	0	0	0	0	0	23,010	23,010
経常費用計	12,516,480	50,213,478	36,080,217	98,810,175	1,052,502,380	1,052,502,380	19,794,548	1,171,107,103
当期経常増減額	△ 11,204,618	△ 12,941,694	△ 6,171,077	△ 30,317,389	64,022,707	64,022,707	△ 19,120,783	14,584,535
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	3,070	3,070	291,584	294,654
経常外費用計	0	0	0	0	3,070	3,070	291,584	294,654
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 3,070	△ 3,070	△ 291,584	△ 294,654
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,204,618	△ 12,941,694	△ 6,171,077	△ 30,317,389	64,019,637	64,019,637	△ 19,412,367	14,289,881
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	△ 11,204,618	△ 12,941,694	△ 6,171,077	△ 30,317,389	64,019,637	64,019,637	△ 19,494,367	14,207,881
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
受取補助金	0	0	0	0	4,008,000	4,008,000	0	4,008,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 2,511,595	△ 2,511,595	0	△ 2,511,595
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	1,496,405	1,496,405	0	1,496,405

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	実施事業等会計										小計
	継1				継2				継3		
	普及啓発	実習受入	ヘルパー 養成研修	教育・啓発事業	シルバー ハウジング	育児ファミリー	介護ファミリー	通所型介護予防	地域福祉 サポート事業	認定調査事業	
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	455,400	0	455,400	0	455,400
事業収益	0	696,950	614,912	1,311,862	15,655,690	10,251,000	8,140,000	2,701,885	36,748,575	29,873,140	67,933,577
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	7,809	60,000	67,809	36,000	103,809
経常収益計	0	696,950	614,912	1,311,862	15,655,690	10,251,000	8,603,209	2,761,885	37,271,784	29,909,140	68,492,786
(2) 経常費用											
事業費	1,497,474	8,911,834	2,107,172	12,516,480	17,086,420	11,352,099	11,029,659	10,745,300	50,213,478	36,080,217	98,810,175
役員報酬	47,772	47,772	47,772	143,316	47,772	23,886	23,886	23,886	119,430	95,544	358,290
給料手当	705,013	7,789,368	1,233,267	9,727,648	4,522,330	3,597,138	2,593,351	5,422,744	16,135,563	7,887,937	33,751,148
臨時雇賃金	79,409	79,409	79,409	238,227	5,078,374	3,943,104	3,998,658	2,053,217	15,073,353	18,575,434	33,887,014
法定福利費	153,095	638,042	184,243	975,380	1,762,363	1,195,344	1,170,677	1,145,067	5,273,451	3,409,637	9,658,468
賞与引当金繰入額	66,465	66,465	66,465	199,395	626,605	152,793	629,493	681,693	2,090,584	938,410	3,228,389
退職給付費用	52,168	52,168	52,168	156,504	92,317	278,633	135,713	452,702	959,365	783,762	1,899,631
福利厚生費	3,677	3,677	3,677	11,031	13,909	23,186	17,403	71,565	126,063	125,487	262,581
職員被服費	0	0	0	0	36,190	0	0	0	36,190	40,920	77,110
旅費交通費	25	25	25	75	2,425	31,073	17,353	613	51,464	7,450	58,989
通信運搬費	5,117	5,117	16,777	27,011	161,822	609,956	402,651	42,831	1,217,260	418,284	1,662,555
減価償却費	0	0	0	0	0	0	12,826	0	12,826	26,521	39,347
消耗品費	10,574	10,574	197,847	218,995	962,718	255,189	31,698	17,386	1,266,991	144,945	1,630,931
医薬品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	123	123	123	369	45,378	61	61	35,691	81,191	59,554	141,114
印刷製本費	198,724	724	724	200,172	724	239,766	24,718	362	265,570	1,447	467,189
燃料費	264	264	264	792	157,627	132	45,384	16,868	220,011	57,813	278,616
光熱水料費	4,800	4,800	4,800	14,400	157,947	2,400	2,400	2,400	165,147	249,600	429,147
賃借料	8,426	8,426	8,426	25,278	166,475	179,958	610,976	103,262	1,060,671	939,138	2,025,087
保険料	2,155	2,155	12,155	16,465	30,668	489,840	398,787	7,242	926,537	91,580	1,034,582
支払負担金	0	0	0	0	0	55,000	0	0	55,000	0	55,000
諸謝金	74,162	74,162	74,162	222,486	74,162	159,037	37,081	37,081	307,361	148,324	678,171
租税公課	585	44,963	39,739	85,287	1,402,472	292	809,220	176,352	2,388,336	1,903,309	4,376,932
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	66,023	66,023	67,552	199,598	1,544,423	105,084	33,012	33,012	1,715,531	132,046	2,047,175
地域交流費	0	0	0	0	175,480	0	0	0	175,480	0	175,480
研修費	1,072	1,072	1,072	3,216	1,072	536	536	536	2,680	2,144	8,040
諸会費	1,120	1,120	1,120	3,360	1,120	560	560	560	2,800	2,240	8,400
手数料	14,404	13,084	13,084	40,572	19,746	7,981	32,065	419,080	478,872	34,089	553,533
支払利息	2,301	2,301	2,301	6,903	2,301	1,150	1,150	1,150	5,751	4,602	17,256
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	1,497,474	8,911,834	2,107,172	12,516,480	17,086,420	11,352,099	11,029,659	10,745,300	50,213,478	36,080,217	98,810,175
当期経常増減額	△ 1,497,474	△ 8,214,884	△ 1,492,260	△ 11,204,618	△ 1,430,730	△ 1,101,099	△ 2,426,450	△ 7,983,415	△ 12,941,694	△ 6,171,077	△ 30,317,389
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,497,474	△ 8,214,884	△ 1,492,260	△ 11,204,618	△ 1,430,730	△ 1,101,099	△ 2,426,450	△ 7,983,415	△ 12,941,694	△ 6,171,077	△ 30,317,389
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,497,474	△ 8,214,884	△ 1,492,260	△ 11,204,618	△ 1,430,730	△ 1,101,099	△ 2,426,450	△ 7,983,415	△ 12,941,694	△ 6,171,077	△ 30,317,389
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等											
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	その他会計							
	他 1							
	訪問看護	介護老人 保健施設	通所リハビリ	訪問リハビリ	ごてんやま 居宅介護	こはま居宅介護	こはま訪問介護	通所介護
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	72,660,303	434,778,454	85,043,858	14,773,725	41,764,425	45,088,194	60,143,633	137,661,970
受取補助金等	1,179,000	7,373,532	511,000	187,000	129,000	129,000	216,000	718,062
受取補助金	1,179,000	4,875,000	511,000	187,000	129,000	129,000	216,000	705,000
受取補助金等振替額	0	2,498,532	0	0	0	0	0	13,062
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	210,074	10,609,733	56,834	9,976	191,960	21,000	23,285	2,496,629
経常収益計	74,049,377	452,761,719	85,611,692	14,970,701	42,085,385	45,238,194	60,382,918	140,876,661
(2) 経常費用								
事業費	65,730,760	415,249,267	84,501,080	13,514,365	41,770,177	38,575,385	59,847,595	134,360,726
役員報酬	346,347	1,385,388	453,834	95,544	214,974	262,746	262,746	429,948
給料手当	31,918,289	185,566,435	31,269,061	6,627,435	17,021,906	15,248,234	22,618,130	42,301,454
臨時雇賃金	13,483,800	29,823,960	17,972,794	2,954,880	11,337,396	12,385,383	21,529,927	32,631,481
法定福利費	7,871,667	35,965,272	8,191,485	1,826,277	5,021,003	5,040,752	6,695,624	12,878,690
賞与引当金繰入額	3,417,451	18,584,925	3,008,383	766,525	1,501,453	1,799,518	2,421,898	5,262,645
退職給付費用	2,571,327	14,000,943	2,632,325	522,729	1,226,791	805,527	1,290,582	2,885,496
福利厚生費	174,136	846,176	191,141	22,628	61,751	60,901	177,622	229,563
職員被服費	31,845	67,375	15,840	0	15,180	2,200	6,160	19,855
旅費交通費	73,752	128,242	1,218	10,650	17,893	638	4,933	3,076
通信運搬費	1,694,224	1,343,228	220,860	80,101	641,272	494,170	810,454	726,016
減価償却費	372,369	9,253,534	2,470,452	60,522	547,730	332,121	1,147,817	5,309,401
消耗品費	528,591	8,986,584	762,473	51,958	405,356	416,334	417,217	2,167,625
医薬品費	0	3,904,116	20,339	0	0	0	0	952
食糧費	0	2,245,451	261,840	0	0	0	0	815,724
修繕費	122,574	3,426,790	29,655	16,900	106,414	66,743	293,803	408,873
印刷製本費	18,995	121,082	55,273	1,447	3,256	3,979	15,929	16,509
燃料費	236,891	8,435	1,106,531	20,227	66,606	55,153	207,192	2,012,563
光熱水料費	274,800	25,138,187	6,293,653	9,600	209,892	266,400	266,400	6,238,221
賃借料	681,364	1,984,761	1,781,322	55,816	2,081,316	315,541	504,398	5,244,524
保険料	187,749	173,406	339,577	37,037	129,453	69,456	119,057	631,289
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	537,675	2,150,698	704,539	148,324	333,729	407,891	407,891	667,458
租税公課	15,694	1,733,679	80,742	18,289	14,993	6,352	66,913	147,816
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	478,667	66,563,443	6,354,589	132,046	666,490	363,127	363,127	12,843,213
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	108,512	255,688	10,184	22,144	4,824	51,396	13,896	9,648
諸会費	48,495	668,855	14,015	2,240	8,415	9,535	9,535	13,455
手数料	192,041	774,135	131,409	26,444	121,730	98,633	183,689	306,293
支払利息	16,682	148,369	126,946	4,602	10,354	12,655	12,655	107,746
雑費	326,823	110	600	0	0	0	0	51,192
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	65,730,760	415,249,267	84,501,080	13,514,365	41,770,177	38,575,385	59,847,595	134,360,726
当期経常増減額	8,318,617	37,512,452	1,110,612	1,456,336	315,208	6,662,809	535,323	6,515,935
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	1	5	0	0	2	0	1
経常外費用計	0	1	5	0	0	2	0	1
当期経常外増減額	0	△ 1	△ 5	0	0	△ 2	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	8,318,617	37,512,451	1,110,607	1,456,336	315,208	6,662,807	535,323	6,515,934
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,318,617	37,512,451	1,110,607	1,456,336	315,208	6,662,807	535,323	6,515,934
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
受取補助金	0	2,940,000	0	0	0	0	0	1,068,000
一般正味財産への振替額	0	△ 2,498,532	0	0	0	0	0	△ 13,062
当期指定正味財産増減額	0	441,468	0	0	0	0	0	1,054,938

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	その他会計					小計	法人会計	合計
	定期巡回	ペルフラワー	御殿山地域包括	小浜地域包括	介護保険事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	68,652	68,652
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	68,652	68,652
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	200	200
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	200	200
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	455,400
事業収益	64,819,299	29,275,903	57,343,340	47,402,212	1,090,755,316	1,090,755,316	0	1,158,688,893
受取補助金等	1,277,001	129,000	0	0	11,848,595	11,848,595	0	11,848,595
受取補助金	1,277,000	129,000	0	0	9,337,000	9,337,000	0	9,337,000
受取補助金等振替額	1	0	0	0	2,511,595	2,511,595	0	2,511,595
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	600,000	600,000
雑収益	54,435	60,000	183,290	3,960	13,921,176	13,921,176	4,913	14,029,898
経常収益計	66,150,735	29,464,903	57,526,630	47,406,172	1,116,525,087	1,116,525,087	673,765	1,185,691,638
(2) 経常費用								
事業費	63,604,039	31,584,157	57,444,516	46,320,313	1,052,502,380	1,052,502,380	0	1,151,312,555
役員報酬	346,347	47,772	47,772	47,772	3,941,190	3,941,190	0	4,299,480
給料手当	27,763,156	19,850,623	30,640,010	21,376,797	452,201,530	452,201,530	0	485,952,678
臨時雇賃金	18,137,823	79,409	7,034,803	10,320,313	177,691,969	177,691,969	0	211,578,983
法定福利費	7,738,092	3,481,334	6,377,166	5,454,825	106,542,187	106,542,187	0	116,200,655
賞与引当金繰入額	2,597,451	1,990,725	3,427,345	2,995,545	47,773,864	47,773,864	0	51,002,253
退職給付費用	1,941,707	1,224,378	2,636,785	1,680,175	33,418,765	33,418,765	0	35,318,396
福利厚生費	154,879	51,481	95,365	73,269	2,138,912	2,138,912	0	2,401,493
職員被服費	4,950	0	0	0	163,405	163,405	0	240,515
旅費交通費	8,502	230,555	56,375	6,365	542,199	542,199	0	601,188
通信運搬費	786,656	300,243	1,070,189	831,650	8,999,063	8,999,063	0	10,661,618
減価償却費	986,113	133,466	1,317,617	1,317,349	23,248,491	23,248,491	0	23,287,838
消耗品費	288,926	193,582	941,333	421,284	15,581,263	15,581,263	0	17,212,194
医薬品費	0	0	0	0	3,925,407	3,925,407	0	3,925,407
食糧費	0	0	84	3,492	3,326,591	3,326,591	0	3,326,591
修繕費	145,879	31,033	123,902	120,228	4,892,794	4,892,794	0	5,033,908
印刷製本費	10,378	724	30,653	13,615	291,840	291,840	0	759,029
燃料費	181,498	101,948	93,184	72,837	4,163,065	4,163,065	0	4,441,681
光熱水料費	274,800	98,971	193,092	184,800	39,448,816	39,448,816	0	39,877,963
賃借料	338,832	1,829,701	2,553,608	994,379	18,365,562	18,365,562	0	20,390,649
保険料	83,928	106,001	139,992	126,980	2,143,925	2,143,925	0	3,178,507
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	55,000
諸謝金	537,675	74,162	74,162	74,162	6,118,366	6,118,366	0	6,796,537
租税公課	7,436	1,360,805	12,046	10,585	3,475,350	3,475,350	0	7,852,282
報償費	0	0	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000
委託費	934,932	264,622	394,503	66,023	89,424,782	89,424,782	0	91,471,957
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	175,480
研修費	52,562	101,072	18,572	4,572	653,070	653,070	0	661,110
諸会費	23,495	1,120	1,120	1,120	801,400	801,400	0	809,800
手数料	143,128	28,129	49,570	20,993	2,076,194	2,076,194	0	2,629,727
支払利息	114,894	2,301	105,268	92,366	754,838	754,838	0	772,094
雑費	0	0	0	8,817	387,542	387,542	0	387,542
管理費	0	0	0	0	0	0	19,794,548	19,794,548
役員報酬	0	0	0	0	0	0	798,720	798,720
給料手当	0	0	0	0	0	0	7,050,126	7,050,126
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	794,088	794,088
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,530,947	1,530,947
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	664,647	664,647
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	788,020	788,020
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	36,765	36,765
採用費	0	0	0	0	0	0	4,095,812	4,095,812
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	2,331	2,331
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	58,562	58,562
減価償却費	0	0	0	0	0	0	240,539	240,539
消耗品費	0	0	0	0	0	0	108,139	108,139
修繕費	0	0	0	0	0	0	657,499	657,499
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	7,231	7,231
燃料費	0	0	0	0	0	0	2,631	2,631
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	84,266	84,266
保険料	0	0	0	0	0	0	167,691	167,691
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,618,319	1,618,319
租税公課	0	0	0	0	0	0	27,246	27,246
委託費	0	0	0	0	0	0	660,232	660,232
研修費	0	0	0	0	0	0	187,680	187,680
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,200	11,200
手数料	0	0	0	0	0	0	130,847	130,847
支払利息	0	0	0	0	0	0	23,010	23,010
経常費用計	63,604,039	31,584,157	57,444,516	46,320,313	1,052,502,380	1,052,502,380	19,794,548	1,171,107,103
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	1	3,060	0	0	3,070	3,070	291,584	294,654
経常外費用計	1	3,060	0	0	3,070	3,070	291,584	294,654
当期経常外増減額	△ 1	△ 3,060	0	0	△ 3,070	△ 3,070	△ 291,584	△ 294,654
税引前当期一般正味財産増減額	2,546,695	△ 2,122,314	82,114	1,085,859	64,019,637	64,019,637	△ 19,412,367	14,289,881
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	2,546,695	△ 2,122,314	82,114	1,085,859	64,019,637	64,019,637	△ 19,494,367	14,207,881
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
受取補助金	0	0	0	0	4,008,000	4,008,000	0	4,008,000
一般正味財産への振替額	△ 1	0	0	0	△ 2,511,595	△ 2,511,595	0	△ 2,511,595
当期指定正味財産増減額	△ 1	0	0	0	1,496,405	1,496,405	0	1,496,405

貸借対照表

2024年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	137,197,508	116,305,450	20,892,058
預金	176,555,130	171,259,367	5,295,763
未収金	23,994	1,342	22,652
未払金	319,800	319,800	0
前払費用	2,903,400	3,342,255	△ 438,855
立替金	50,778	840,358	△ 789,580
流動資産合計	317,050,610	292,068,572	24,982,038
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	160,000,000	200,000,000	△ 40,000,000
投資有価証券	40,000,000	0	40,000,000
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
修繕積立資産	10,000,000	10,000,000	0
建物附属設備	4,858,499	3,725,856	1,132,643
車両運搬具	1	2	△ 1
什器備品	5,244,894	2,717,031	2,527,863
特定資産合計	20,103,394	16,442,889	3,660,505
(3) その他固定資産			
建物附属設備	1,910,445	2,095,564	△ 185,119
構築物	31,267,485	35,125,950	△ 3,858,465
車両運搬具	371,488	420,421	△ 48,933
什器備品	6,714,707	5,656,706	1,058,001
ソフトウェア	30,068,293	29,411,714	656,579
ソウトウエ	719,677	880,163	△ 160,486
保証金	500,000	500,000	0
出資	200,000	100,000	100,000
その他固定資産合計	71,752,095	74,190,518	△ 2,438,423
固定資産合計	291,855,489	290,633,407	1,222,082
資産合計	608,906,099	582,701,979	26,204,120
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	51,445,222	47,975,081	3,470,141
未払法人税	82,000	82,000	0
未払消費税	2,573,300	2,262,500	310,800
未払費用	12,391,521	12,792,866	△ 401,345
前受金	72,000	0	72,000
預り金	13,283,844	6,406,548	6,877,296
賞与引当金	51,666,900	52,908,200	△ 1,241,300
1年内返済予定リース債務	9,826,770	9,302,079	524,691
流動負債合計	141,341,557	131,729,274	9,612,283
2. 固定負債			
リース債務	17,053,852	16,166,301	887,551
固定負債合計	17,053,852	16,166,301	887,551
負債合計	158,395,409	147,895,575	10,499,834
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
建物附属設備	3,017,049	2,383,906	633,143
車両運搬具	1	2	△ 1
什器備品	2,461,894	1,598,631	863,263
指定正味財産合計	205,478,944	203,982,539	1,496,405
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(5,478,944)	(3,982,539)	1,496,405
2. 一般正味財産	245,031,746	230,823,865	14,207,881
(うち特定資産への充当額)	(14,624,450)	(12,460,350)	2,164,100
正味財産合計	450,510,690	434,806,404	15,704,286
負債及び正味財産合計	608,906,099	582,701,979	26,204,120

財産目録

2024年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管		420,000
			運転資金として	420,000
	預金	郵便貯金		610,693
		郵便貯金 (1120-3-68145)	運転資金として	610,693
		普通預金		136,166,815
		三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 (3680612)		136,166,815
	未収金		主として介護報酬等	176,555,130
	未収収益		定期預金利息の未収分	23,994
	前払金		4月分の前払家賃・駐車場代	319,800
	前払費用		保険料、システム保守料 他	2,903,400
	立替金	依頼会員、職員等に対する	提供会員報酬、職員食の立替払い 他	50,778
流動資産合計				317,050,610
(固定資産)				
基本財産				
	預金	定期預金	運用益を介護保険事業等の 財源として使用	160,000,000
		尼崎信用金庫 宝塚支店		81,000,000
		池田泉州銀行 逆瀬川支店		79,000,000
	投資有価証券	兵庫県令和5年度第3回 公募公債		40,000,000
		SMBC日興証券(株) 神戸支店		40,000,000
特定資産				
	修繕積立資産	定期預金	介護保険事業等の積立資産を 資産修繕資金として管理	10,000,000
		尼崎信用金庫 宝塚支店		
その他				
固定資産				
	建物附属設備		介護老人保健施設、定期巡回随時 対応型訪問介護看護事業、通所 介護事業に使用	4,858,499
	車両運搬具			1
	什器備品			5,244,894
	建物	宝塚市小浜4-5-6	介護保険事業等の施設として使用	1,910,445
	建物附属設備			31,267,485
	構築物			371,488
	車両運搬具			6,714,707
	什器備品			30,068,293
	ソフトウェア			719,677
	保証金			500,000
	出資金			200,000
固定資産合計				291,855,489
資産合計				608,906,099
(流動負債)				
	未払金	宝塚石油他70件に 対する 他	介護保険事業等に供する備品 購入等の未払分 他	51,445,222
	未払法人税等			82,000
	未払消費税等			2,573,300
	未払費用		法定福利費 夏季賞与(10~3月分)の 未払分 他	12,391,521
	前受金	依頼会員より	年会費の受領	72,000
	預り金		社会保険料、住民税等の預り分	13,283,844
	賞与引当金		従業員244名に対する賞与の 支払いに備えたもの	51,666,900
	1年内返済予定 リース債務	車両運搬具、什器備品		9,826,770
流動負債合計				141,341,557
(固定負債)				
	リース債務	車両運搬具、什器備品		17,053,852
固定負債合計				17,053,852
負債合計				158,395,409
正味財産				450,510,690

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(建物、構築物)・・・定額法による。

有形固定資産(建物附属設備)・・・定率法による。

ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法による。

有形固定資産(車両運搬具、什器備品)・・・定率法による。

無形固定資産(ソフトウェア)・・・定額法による。

リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

リース資産(所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	40,000,000	160,000,000
投資有価証券	0	40,000,000	0	40,000,000
小 計	200,000,000	40,000,000	40,000,000	200,000,000
特定資産				
修繕積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
建物附属設備	3,725,856	1,567,500	434,857	4,858,499
車両運搬具	2	0	1	1
什器備品	2,717,031	4,604,600	2,076,737	5,244,894
小 計	16,442,889	6,172,100	2,511,595	20,103,394
合 計	216,442,889	46,172,100	42,511,595	220,103,394

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	160,000,000	(160,000,000)	0	—
投資有価証券	40,000,000	(40,000,000)	0	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	0	—
特定資産				
修繕積立資産	10,000,000	0	(10,000,000)	—
建物附属設備	4,858,499	(3,017,049)	(1,841,450)	—
車両運搬具	1	(1)	0	—
什器備品	5,244,894	(2,461,894)	(2,783,000)	—
小 計	20,103,394	(5,478,944)	(14,624,450)	—
合 計	220,103,394	(205,478,944)	(14,624,450)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物附属設備	5,785,450	926,951	4,858,499
車両運搬具	132,640	132,639	1
什器備品	8,277,095	3,032,201	5,244,894
小 計	14,195,185	4,091,791	10,103,394
その他固定資産			
建物	4,295,500	2,385,055	1,910,445
建物附属設備	84,443,212	53,175,727	31,267,485
構築物	5,695,830	5,324,342	371,488
車両運搬具	33,466,887	26,752,180	6,714,707
什器備品	102,546,650	72,478,357	30,068,293
ソフトウェア	2,281,650	1,561,973	719,677
小 計	232,729,729	161,677,634	71,052,095
合 計	246,924,914	165,769,425	81,155,489

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
兵庫県公募公債	40,000,000	39,724,000	(276,000)
合 計	40,000,000	39,724,000	(276,000)

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
定期巡回事業補助金	宝塚市	3	0	1	2	指定正味財産
介護老人保健施設労働環境改善支援事業補助金	兵庫県	3,982,536	0	965,201	3,017,335	指定正味財産
介護老人保健施設福祉機器整備補助金	(公財)JKA	0	2,940,000	1,533,331	1,406,669	指定正味財産
通所介護事業業務効率化支援事業補助金	兵庫県	0	1,068,000	13,062	1,054,938	指定正味財産
合計		3,982,539	4,008,000	2,511,595	5,478,944	-

7 リース取引関係

(ファイナンス・リース取引)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容:その他固定資産…車両運搬具及び什器備品

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	2,511,595
合計	2,511,595

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略しております。

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	52,908,200	51,666,900	52,908,200	0	51,666,900
合 計	52,908,200	51,666,900	52,908,200	0	51,666,900

監査報告書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

監 査 報 告

2024年5月27日

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社
理事長 妙中 信之 殿

監事 柴 崎 崇



監事 西 尾 晃 一



私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上